





ポンちゃんへの想い

愛おしい チワワのポンちゃんへの想い

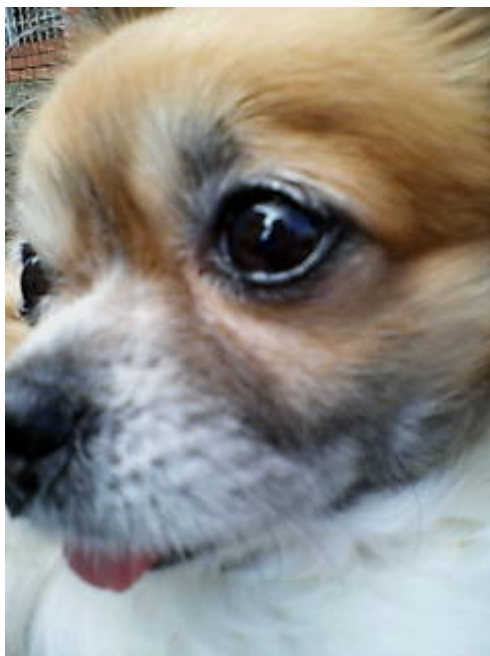


わずかに 残る 匂い

いとおいしい 匂い

そっと 匂いを 嗅ぐ

こころが 安堵する

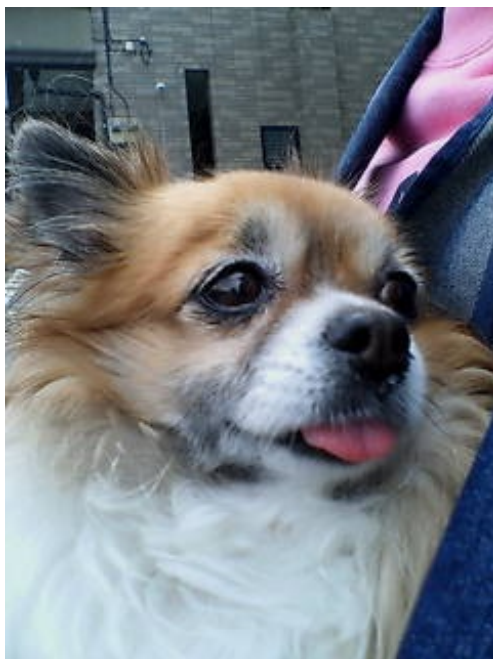


季節が 移り変わっても

見えないもので

つながっている

永遠に



やわらかい 微笑み

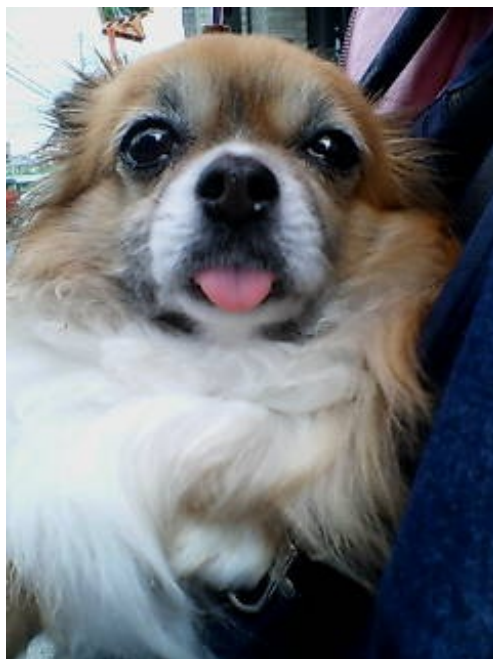
澄んだ 瞳

愛らしい まなざし

天使のような 顔

天使のまま

旅立ったんだね



たいせつな 足形

忘れない

共に

生きてくれていたこと

ありがとう



ありがとう

傍に いつも いてくれて

ありがとう

こころに 刻み

生きていく



あの夏 涼しい朝

ひさしぶりの外

一緒に 散歩して

ゆるやかな 坂道を

歩いた

ずっと 忘れない

<



わたしを見つめる

真っ直ぐなまなざし

いつも大きな愛を

もらっていた



鳥の さえずり

好きだったね

これからも

一緒に 行こう

鳥の音が

たくさん 聞こえる 場所へ

よく がんばったね

&



最後の 最期まで

四つ足で 踏ん張って

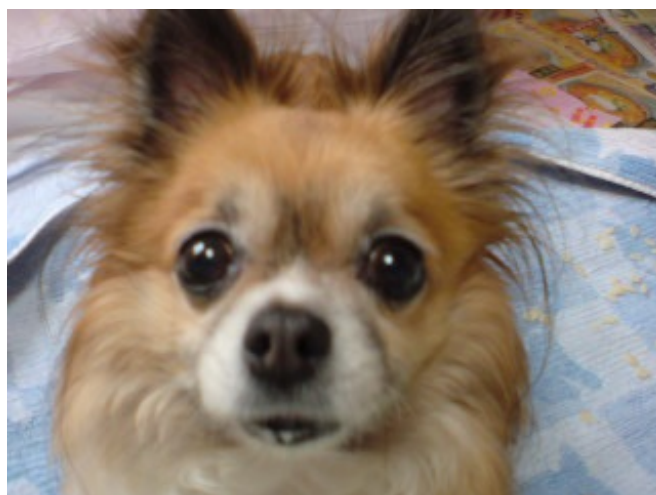
立っていた

ほんとうに 我慢強い

よく がんばったね



ポンちゃんへの想い



<http://p.booklog.jp/book/72948>

著者：加織

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/pon1030/profile>

感想はこちらのコメントへ <http://p.booklog.jp/book/72948>

ブックログ本棚へ入れる<http://booklog.jp/item/3/72948>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー（<http://p.booklog.jp/>）会社：株式会社
ブックログ